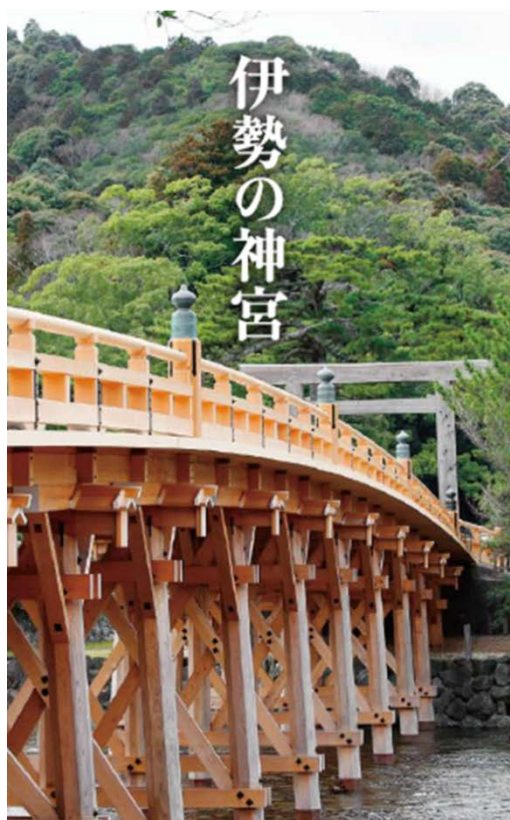


伊勢神宮に参拝しました

新年あけましておめでとうございます。2019年1月15日に伊勢神宮にお参りました。正式な参拝とは順序が逆ですが、最初に内宮をお参りました。今年で3年連続のお参りです。内宮から、おはらい通り、おかげ横丁を見て、二見プラザで遅い昼食をとり、外宮をお参りました。

伊勢神宮には、「太陽」を神格化した天照坐皇大御神（天照大御神）を祀る皇大神宮と、衣食住の守り神である豊受大御神を祀る豊受大神宮の二つの正宮があり、一般に皇大神宮は内宮、豊受大神宮は外宮と呼ばれる。内宮と外宮は離れているため、観光で内宮のみ参拝の人が多いが、まず外宮を参拝してから内宮に参拝するのが正しいとされている。

広義には、別宮、摂社、末社、所管社を含めた、合計125の社宮を「神宮」と総称する。この場合、所在地は三重県内の4市2郡に分布する。伊勢神宮は皇室の氏神である天照坐皇大御神を祀るため、歴史的に皇室・朝廷の権威との結びつきが強く、現代でも内閣総理大臣及び農林水産大臣が年始に参拝することが慣例となっている。また、式年遷宮が20年に一度行われる



皇大神宮 内宮

皇室のご祖神の天照大神をおまつりする、わが国で最も尊いお宮です。五十鈴川の川上に千古の森に囲まれて、2000年の時を超えて古代のたたずまいを今日に伝えています。

正宮 しょうきゅう
北殿の中心の正殿(じょうでん)は五重の屋根に覆われています。
●時鐘造(ときねぞう)といわれる古代の鐘式を伝え、寛永(1624)の修理には10本の榎木(えのき)のつらぎがせり出た。4本の千木(ちぎ)の先端は丸く削られています。

子安神社 こやすじんじゃ
木曾藩(きそはん)の藩主(はんしゅ)が祈願(きがん)の地におまつりしています。
●ここに産(う)まひ(な)ま(り)の神(かみ)の御(み)祭(まつ)りがあります。子育て、安産(やすさん)、子育ての御(み)守(まも)りがあります。

宇治橋 うじはし
五十鈴川に架けられた木造(もくぞう)の橋(はし)は神聖(しんせい)な聖(せい)域(いき)です。
●長さ104m、高さ10mの鳥居(とりい)は、真正(まことまこと)の御(み)守(まも)り所(ところ)にもなっています。

外宮
外宮(げきゅう)方面(へんぱん)バス(ばす)乗(のり)場(ば) 外宮(げきゅう)方面(へんぱん)バス(ばす)乗(のり)場(ば)

風日祈宮 かぜひのいのみや
風の神(かぜのかみ)をおまつりする御(み)所(ところ)です。
●鎌倉(かまくら)時代の丸(まる)木(き)の御(み)守(まも)り所(ところ)で、神風(かみかぜ)が吹(ふ)き寄(よ)るのを防(まも)りて日本(にっぽん)を守(まも)った神(かみ)です。

五十鈴川 いすずがわ
いすずがわ(いすず)の御(み)守(まも)り所(ところ)です。
●参(ま)りて心(こころ)を清(きよ)める御(み)所(ところ)です。
●参(ま)りて心(こころ)を清(きよ)める御(み)所(ところ)です。
●参(ま)りて心(こころ)を清(きよ)める御(み)所(ところ)です。

五十鈴川御手洗場 いすずがわのみでらいば
いすずがわ(いすず)の御(み)守(まも)り所(ところ)です。
●参(ま)りて心(こころ)を清(きよ)める御(み)所(ところ)です。
●参(ま)りて心(こころ)を清(きよ)める御(み)所(ところ)です。

宇治橋より域内禁煙 **喫煙所** **駐車場** **案内所** **公衆トイレ** **撮影禁止** **車椅子貸し出し所** **授乳室** **ペット預かり所** **コインロッカー**







神域案内図

豊受大神宮 外宮

とようけだいじんぐう (げくう)

天照大神のお食事を可る神の豊受大神をおまつりしています。
内宮創建から500年後に山田原に遷られました。衣食住をはじめあらゆる産業の守り神です。

御祭殿 みけでん
毎年朝夕の度、天照大神・豊受大神を祀る神事として神々を自祭りするための祭典。お秩入する神楽(しんせんせ)は、豊受大神に祀る神楽(しんせんせ)といひ、(いかり)を使用して湯火神楽で奉迎される。

正宮 しょうぐう
正宮を中心とする神域は内宮とはほぼ同じ様式ですが、薪木は本木で干木は意匠に切られています。また、社殿の彫刻が異なります。

土宮 つちのみや
大土乃御祭殿(おほつちのみや)の神域にまつる御祭(みけ)が立てます。宮内から山田原(やまのたばら)の御守(みまもり)の神としてまつられ、丹波(たんば)の神域(かみ)の地生(ぢせい)の神としてまつられています。

神楽殿 かぐらでん
ご祭典(ごまつり)の御祭(みけ)や御舞(みまひ)を行う御殿です。御祭(みけ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。

風宮 かぜのみや
風の神をおまつる御祭(みけ)が立てます。御祭(みけ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。

多賀宮 たがのみや
豊受大神(とようけだいじん)の御祭(みけ)の御祭(みけ)をまつる御祭(みけ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。

宇水宮 うすいのみや
宇水(うすい)の御祭(みけ)をまつる御祭(みけ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。

せんぐう船 せんぐうふね
式年奉納の御祭(みけ)です。外宮正宮の御祭(みけ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。

せんぐう屋 せんぐうや
御祭(みけ)の御祭(みけ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。御舞(みまひ)の神域(かみ)にまつる。

神宮 -お伊勢まじりは外宮から-

伊勢神宮は日本人の心のふるさとといわれ、「お伊勢さん」「大神宮さま」とも呼ばれ、親しまれています。正式名称は「神宮」といい、宇治の五十鈴の川上にある皇大神宮(内宮)と、山田原にある豊受大神宮(外宮)の両大神宮を中心として、14所の別宮、43所の摂社、24所の末社、42所の所管社があります。「神宮」はこれら125の宮社の総称でもあります。

〒516-0023 伊勢市宇治郡町1 番 0596(24)1111(Fax)
<http://www.isejingu.or.jp/>

